

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年7月23日(2015.7.23)

【公開番号】特開2013-258281(P2013-258281A)
 【公開日】平成25年12月26日(2013.12.26)
 【年通号数】公開・登録公報2013-069
 【出願番号】特願2012-133235(P2012-133235)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 23/02 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 23/02 J

H 0 1 L 23/02 C

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月9日(2015.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

凹部と前記凹部を露出する開口部とを有する筐体部と、
 不純物が注入された半導体材料で形成され、一方の面が前記筐体部に接合されて前記開口部を覆う蓋部と、
 前記筐体部の前記開口部の周囲の前記蓋部との接合面に形成される第 1 金属膜と、
 前記蓋部の前記一方の面において、前記第 1 金属膜に対応する位置に形成される第 2 金属膜と、
 前記蓋部の他方の面において、前記第 2 金属膜に対応する位置に形成される第 3 金属膜と、
 前記筐体部の前記凹部の内部に配設される電子部品と
 を含み、
前記第 3 金属膜は、前記蓋部の前記他方の面の中央部を取り囲むように、平面視で分離して配列される複数の金属膜部である、電子装置。

【請求項 2】

前記複数の金属膜部のうち、前記中央部に対して対称な位置に配置される一対の金属膜部同士の間隔は、前記蓋部の厚さよりも大きい、請求項 1 記載の電子装置。

【請求項 3】

前記複数の金属膜部のうち、相隣接する金属膜部同士の間隔は、前記蓋部の厚さよりも大きい、請求項 1 又は 2 記載の電子装置。

【請求項 4】

前記開口部は平面視で矩形であり、前記第 1 金属膜及び前記第 2 金属膜は平面視で矩形環状であり、前記複数の金属膜部は、平面視で矩形環状に配置される、請求項 2 又は 3 記載の電子装置。

【請求項 5】

前記第 2 金属膜の断面における幅は、前記第 1 金属膜の断面における幅よりも狭い、請求項 4 記載の電子装置。

【請求項 6】

前記筐体部は前記蓋部と同一の半導体材料で形成される、請求項 1 乃至 5 のいずれか一

項記載の電子装置。

【請求項 7】

前記半導体材料はシリコンである、請求項 1 乃至6のいずれか一項記載の電子装置。

【請求項 8】

前記筐体部の外表面及び前記凹部の内表面を覆う絶縁層をさらに含む、請求項 1 乃至7のいずれか一項記載の電子装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の実施の形態の電子装置は、凹部と前記凹部を露出する開口部とを有する筐体部と、不純物が注入された半導体材料で形成され、一方の面が前記筐体部に接合されて前記開口部を覆う蓋部と、前記筐体部の前記開口部の周囲の前記蓋部との接合面に形成される第 1 金属膜と、前記蓋部の前記一方の面において、前記第 1 金属膜に対応する位置に形成される第 2 金属膜と、前記蓋部の他方の面において、前記第 2 金属膜に対応する位置に形成される第 3 金属膜と、前記筐体部の前記凹部の内部に配設される電子部品とを含み、前記第 3 金属膜は、前記蓋部の前記他方の面の中央部を取り囲むように、平面視で分離して配列される複数の金属膜部である。